

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-24	高等学校	商業科	電子商取引	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
190 東法	商業 359	電子商取引 新訂版		

1. 編修の基本方針

- ・遊び心のある教科書をテーマに、個人企業（レストラン）のウェブ担当者が一からウェブページを作成していくというストーリー性を持たせ、リアリティのある内容構成としました。ストーリーを展開していくことで興味深く学習に取り組み、さまざまな知識や技術が習得できるように工夫しています。
- ・項目の導入部には学習内容に関する挿話を配置して、興味を持って意欲的・自主的に学習に取り組めるように配慮しました。
- ・電子商取引や情報通信技術に関する概要や法律といった理論部分と、ウェブページの作成という制作実習部分がかけ離れたものとならないよう、理論部分にはそれを活用した制作物、制作実習部分にはその裏にある技術や法令についてを、該当ページを参照することで有機的に取り扱い、知識と技能、表現力を一体として身に付けられるように考慮しています。
- ・わかりにくい項目の説明やソフトウェアの操作では、イラストや図版を多用した解説と、画面画像を掲載した操作解説などを掲載し、直感的に理解が得られるようにしています。
- ・電子商取引における課題や法規制については具体事例や図解を多用して解説し、今後ますます重要視されるであろう道徳観、倫理観（特に企業倫理）について、意識的に学習ができるように配慮しています。
- ・節末には練習問題を配置し、学習内容に対する理解度を確認できるようにしました。
- ・ウェブページの制作では、ソフトウェアを使用した作成→HTML を利用した作成→CSS を利用した作成→JavaScript を利用した作成→CGI へという流れで構成し、簡単

なものから学習を始め、徐々に高度な技術が身に付くように構成しています。

- ・ビジネスにおいては、ウェブページの公開はスタートであり、その後の更新・メンテナンスが重要であることを明確にし、公開のみにとどまらず、公開後の活用についても言及しました。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 情報通信技術の進歩とビジネス 第1節 ビジネスの変化 第2節 情報通信ネットワークの活用と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・導入部に学習内容に関する挿話を配置し、社会人としての生活や態度を垣間見せるとともに、興味を持って意欲的・自主的に学習に取り組めるようにした。(第2号) ・東京都心を離れた閑静な住宅街の老舗のフレンチレストランをストーリーの舞台に設定し、これからの電子商取引を語ることで多様な価値観や寛容な姿勢を育むことに配慮した。(第5号) ・調査や考察などの研究課題を適宜掲載し、思考力・判断力・表現力、企業倫理などを育むことができるように配慮した。(第1号) ・広報活動の変遷や情報化における技術革新や今後の展開について取り上げ、これまで支えてきた技術を基本として未来を考える構成に配慮した。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 ページ 8～26 行目 ・3 ページ 1～18 行目 ・6 ページ 6～15 行目 ・6 ページ 16～26 行目 ・7 ページ ・8 ページ 8～16 行目 ・8 ページ 17～22 行目 ・9 ページ 1～9 行目 ・16 ページ 研究課題 1-1 ・18 ページ 9～16 行目 ・22 ページ 6～13 行目 ・24 ページ 8～15 行目 ・26 ページ 研究課題 1-2
第2章 コンテンツの制作 第1節 コンテンツのデジタル化とファイル形式	<ul style="list-style-type: none"> ・導入部に学習内容に関する挿話を配置し、社会人としての生活や態度を垣間見せるとともに 	<ul style="list-style-type: none"> ・28 ページ 8～17 行目 ・40 ページ 8～27 行目 ・50 ページ 8～20 行目

<p>第2節 コンテンツの準備 第3節 情報の統合</p>	<p>に、興味を持って意欲的・自主的に学習に取り組めるようにした。(第2号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動の変遷や情報化における技術革新や今後の展開について取り上げ、これまで支えてきた技術を基本として未来を考える構成に配慮した。(第5号) ・ 視覚情報の重要性について記述。(第4号) ・ 東京都下、沖縄、イタリアなど、さまざまな地域の画像を採用した。(第5号) ・ 草花や生き物、こどもの画像を採用し、環境保全や生命を尊ぶ態度を培えるよう配慮。(第4号) ・ 地域の環境保全に取り組むことで有名な美しい街並みの画像を採用。(第4号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 37 ページコラム ・ 41 ページコラム ・ 56 ページ画像 ・ 57 ページ画像 ・ 57 ページ下段画像 ・ 58 ページ画像 ・ 59 ページ画像 ・ 70 ページ例題 2-2-1 ・ 71 ページ ・ 73 ページ ・ 74 ページ
<p>第3章 ウェブデザインと広告・広報 第1節 ウェブページ制作の手順 第2節 デザインの基礎 第3節 ウェブページ制作の基礎 第4節 ウェブページ制作の応用①—ウェブページにおけるプログラミング— 第5節 ウェブページ制作の応用②—ウェブページにおけるアンケート調査—</p>	<p>・ 導入部に学習内容に関する挿話を配置し、社会人としての生活や態度を垣間見せるとともに、興味を持って意欲的・自主的に学習に取り組めるようにした。(第2号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブデザイナーの仕事を具体的に取り上げ、職業観、勤労観を想起できるようにした。(第2号) ・ コミュニケーションの重要性について記述。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 86 ページ 6～15 行目 ・ 87 ページ 1～12 行目 ・ 88 ページ 6～9 行目 ・ 90 ページ 5～9 行目 ・ 92 ページ 6～18 行目 ・ 96 ページ 5～10 行目 ・ 96 ページ 5～8 行目 ・ 86 ページ 16～29 行目 ・ 87 ページ 1～31 行

<p>第6節 ウェブページ制作の応用③—ウェブページにおけるデータベースとの連携—</p>	<p>・カラーバリアフリーやユーザビリティ、人間工学について記述。(第4号)</p>	<p>目。 ・99 ページコラム</p>
<p>第4章 ウェブページの公開 第1節 ネットワーク機器の種類と機能 第2節 ハードウェアとソフトウェアの導入 第3節 ウェブページの公開</p>	<p>・導入部に学習内容に関する挿話を配置し、社会人としての生活や態度を垣間見せるとともに、興味を持って意欲的・自主的に学習に取り組めるようにした。(第2号)</p> <p>・調査や考察などの研究課題を適宜掲載し、思考力・判断力・表現力、企業倫理などを育むことができるように配慮した。(第1号)</p> <p>・広報活動の変遷や情報化における技術革新や今後の展開について取り上げ、これまで支えてきた技術を基本として未来を考える構成に配慮した。(第5号)</p>	<p>・196 ページ 7～14 行目 ・194 ページコラム ・202 ページ 6～16 行目 ・206 ページ 8～15 行目 ・210 ページ 7～13 行目 ・218 ページ 7～17 行目 ・222 ページ 7～14 行目 ・201 ページ 研究課題 4-1 ・216 ページコラム ・227 ページコラム</p>
<p>第5章 電子商取引とビジネス 第1節 電子商取引のしくみ 第2節 企業間取引と企</p>	<p>・導入部に学習内容に関する挿話を配置し、社会人としての生活や態度を垣間見せるとともに、興味を持って意欲的・自主的に学習に取り組めるようにし</p>	<p>・230 ページ 8～28 行目 ・234 ページ 6～18 行目</p>

業・消費者間取引 第3節 電子決済のしくみ と方法 第4節 電子商取引システ ムの作成	た。(第2号) ・調査や考察などの研究課題を 適宜掲載し、思考力・判断力・表 現力、企業倫理などを育むこと ができるように配慮した。(第1 号) ・オンラインマーク制度につい て記述。(第3号)	・243 ページ研究課題 5-1 ・254 ページ研究課題 5-2 ・265 ページ研究課題 5-3 ・243 ページコラム
---------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 前見返しでは、電子商取引を実施する上での概要を説明するとともに、それぞれを学習する章を明示し、この教科書での学習の流れを明確にしました。

(2) 口絵Ⅲ~Ⅵで、ウェブページの素材となる写真や映像の効果的な撮影方法について、イラストや写真を用いて、具体的に説明しました。

(3) 後見返しでは、学習のまとめとして電子商取引の実際を説明し、未来へとつながるような展開で締めくくるように構成しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-24	高等学校	商業科	電子商取引	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
190 東法	商業 359	電子商取引 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 学習目標の確認——各項目の最初にPOINTを設置し、その項目で学習する内容を簡潔に示し、目標を確認した上で学習に取り組めるように配慮しました。

(2) 先取りと確認——あとから詳しく学習をおこなう内容、あるいはすでに学習した内容について、重要項目に関しては側注で該当ページを提示し、必要に応じて先取り学習や確認学習に対応できるようにしています。

(3) 段階を踏んだ実習——ソフトウェアを活用した例題や実習問題などの課題では、先に作成した題材をもとに次の実習ができるようにするなど、連続性のある学習ができるようにしました。また、課題を重ねるごとに、段階を踏んでより高度な技術や技法が身に付くように構成しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1章 情報通信技術の進歩とビジネス	(1) 情報通信技術の進歩とビジネス ア ビジネスの変化	2～17ページ	3
第1節 ビジネスの変化			
〔1〕 ビジネスと情報通信ネットワーク			
〔2〕 ビジネスの形態			
〔3〕 広告と広報活動			
第2節 情報通信ネットワークの活用と課題	イ 情報通信ネットワークの活用と課題	18～26ページ	2
〔1〕 インターネットと接続			
〔2〕 インターネットと個人情報			
〔3〕 インターネットと知的財産			
第2章 コンテンツの制作	(2) コンテンツの制作 ア ファイルの形式	28～39ページ	3
第1節 コンテンツのデジタル化とファイル形式			
〔1〕 画像の種類とファイル形式			
〔2〕 動画のデジタル化とファイル形式			
〔3〕 音声のデジタル化とファイル形式			
第2節 コンテンツの準備	イ 図形と画像 ウ 音声	40～79ページ	13
〔1〕 図形の準備			
〔2〕 画像の準備			
〔3〕 動画の準備			
〔4〕 音声の準備			
第3節 情報の統合	エ 情報の統合	80～84ページ	3
〔1〕 情報の統合方法			
〔2〕 情報の統合の準備と実際			
第3章 ウェブデザインと広告・広報	(3) ウェブデザインと広告・広報 ア ウェブページ制作の手順	86～95ページ	3
第1節 ウェブページ制作の手順			
〔1〕 インフォメーションデザイン			
〔2〕 企画・立案			
〔3〕 企画書の作成			
〔4〕 ウェブページ制作の設計図			

第2節 デザインの基礎				
〔1〕 インタフェースデザイン	イ デザインの基礎	96～109ページ	3	
〔2〕 配色				
〔3〕 テキストの準備				
〔4〕 画面構成				
第3節 ウェブページ制作の基礎	ウ ウェブページ制作の基礎	110～129ページ	4	
〔1〕 ページデザインとレイアウト	エ ウェブページ制作の応用	130～171ページ	8	
〔1〕 HTMLとXHTML				
〔2〕 CSS				
〔3〕 JavaScript				
第5節 ウェブページ制作の応用②				
〔1〕 ウェブページにおけるアンケート調査				
〔2〕 CGI				
第6節 ウェブページ制作の応用③				
〔1〕 ウェブページにおけるデータベース	172～187ページ	3		
〔2〕 ウェブページによるデータベースとの連携	188～194ページ	2		
第4章 ウェブページの公開	(4)ウェブページの公開			
第1節 ネットワーク機器の種類と機能	ア ネットワーク機器の種類と応用	196～201ページ	2	
〔1〕 ネットワーク機器の種類と機能	イ ハードウェアとソフトウェアの導入	202～217ページ	3	
第2節 ハードウェアとソフトウェアの導入				
〔1〕 サーバの機能				
〔2〕 ハードウェアとソフトウェア				
〔3〕 ネットワークの構築				
第3節 ウェブページの公開				218～228ページ
〔1〕 ウェブページの公開				
〔2〕 ウェブページのメンテナンス				
第5章 電子商取引とビジネス	(5)電子商取引とビジネス			
第1節 電子商取引のしくみ	ア 電子商取引の仕組み	230～243ページ	4	
〔1〕 電子商取引の特徴	イ 企業間取引と企業・消費者間取引	244～255ページ	4	
〔2〕 電子商取引を始めるには				
〔3〕 電子用取引に関する法律				
第2節 企業間取引と企業・消費者間取引				
〔1〕 電子商取引の分類				
〔2〕 電子商取引をする「場」の広がり				
〔3〕 電子商取引に関連するビジネス				
第3節 電子決済のしくみと方法				ウ 電子決済の仕組みと方法
〔1〕 電子商取引における代金決済	エ 電子商取引システムの作成	266～277ページ	5	
〔2〕 電子決済のしくみ				
〔3〕 情報通信技術の進歩と電子決済				
第4節 電子商取引システムの作成				
〔1〕 商品販売ページの作成				
〔2〕 電子商取引へのメールの活用				
	計		70	